

令和元年度
事業報告

一般社団法人 日本工業用水協会

目次

1. 会 務	1
(1) 会員の現況	1
(2) 総会	1
(3) 理事会	3
(4) 監事会	5
(5) 協会運営委員会	5
2. 工業用水道事業の推進	7
(1) 令和2年度工業用水道事業施策に関する要望	7
3. 事 業	8
(1) 調査研究業務	8
(2) 出版に関する事業	11
(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業	14
(4) 工業用水道保険事業	14

1. 会 務

(1) 会員の現況

令和2年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	令和元年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	134	1	3
事業者	119	0	1
利用者	15	1	2
特別会員	41	2	0
関連産業会員	37	0	0
名誉会員	5		
計	217	3	3

顧問：3名（内名誉会員が3名）（議決権対象は212会員）

(2) 総会

(2) . 1 臨時総会

日 時 平成31年4月17日（水）13：30～13：40

場 所 日本工業用水協会 会議室

会員数 209会員（平成31年4月1日現在）

出席会員 1社員

代理出席会員 15社員

委任状提出会員 76社員

議決権行使会員 83社員

計 175社員

次 第 挨拶

議 題

議案 理事4名及び監事2名選任（案）

概 要

代表理事の岩井専務理事から、定時総会で決議された総会運営要領に基づいて、会長代理の千葉県企業局松宗工業用水部次長を議長として提案し、出席会員全員から異議なしの発言があり、松宗工業用水部次長が議長に選出された。

議長から、議事の開会宣言後、出席状況について事務局に報告を求め、臨時総会の成立が報告された。引き続き議事録署名人の選任について、議長一任の発言に基づき、議長のほか、理事の一般財団法人造水促進センター中村総務部長、株式会社クボタパイプインフラ事業推進部中村担当部長を議長から指名した。

議長の求めにより、岩井専務理事から現役員の現職退任等に伴う理事及び監事辞任により、定款第22条第1項に基づき、次の理事4名及び監事2名の選任を

求めた。

議長は、役員候補者ごとに決議を行い、それぞれ異議なく承認可決され、候補者全員が原案のとおり選任された。

理事 玉田 浩一殿、相津 晴洋殿、二川 浩殿、大谷 俊洋殿
監事 秋田 喜代司殿、黒住 正志殿

(2) . 2 第7回定時総会

日 時 令和元年6月10日(金) 14:00～16:40
場 所 東京都文京区湯島(東京ガーデンパレス 3階 平安の間)
会員数 211会員(令和元年6月10日現在)

出席会員数 出席会員 12社員
代理出席会員 17社員
委任状提出会員 98社員
議決権行使会員 53社員
計 180社員

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 守山課長 ほか3名
総務省公営企業経営室 本島室長 ほか1名
国土交通省水資源政策課 今長課長
(公社)日本水道協会 平本検査部長 ほか1名
(一社)日本水道工業団体連合会 宮崎専務理事

次 第 会長挨拶
来賓祝辞
会長表彰
議 題

I 議案

第1号議案 平成30年度事業報告(案)
第2号議案 平成30年度決算報告書(案)及び監査報告書
第3号議案 役員の選任(案)

II 報告事項

(1) 平成31年度事業計画及び平成31年度収支予算書
(2) 令和2年度工業用水道事業施策に関する要望事項

講演 産業技術総合研究所プロジェクトリーダー

丸井 敦尚 様

概 要

会長の玉田千葉県企業局長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省守山地域経済産業グループ地域産業基盤整備課長、総務省林崎自治財政局長(代理.本島公営企業経営室長)、国土交通省水管理・国土保全局佐藤水資源部長(代理.今長水資源政策課長)のご祝辞を賜った。このほかご来賓として出席いただいた方々等のご紹介を行った。引き続き会長表彰として功労賞14名、勤続賞64名のうち、当日参加の方々の表彰状授与式が執り行われた。

玉田会長が議長となって、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、総会成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長一任の発言に基づき、議長のほか一般財団法人造水促進センター平井顧問、大成機工株式会社鈴木代表取締役社長を議長から指名した。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、岩井専務理事が説明

を行い各議案の承認を求めた。審議が行われ議案ごと決議され、すべて原案どおりに了承された。

最後に、産業技術総合研究所プロジェクトリーダー丸井敦尚様から「近年の地下水管理とトピックス(揚水規制の見直しのために)」について講演が行われた。

(3) 理事会

(3) . 1 第37回理事会(書面審議)

日 時 平成31年3月29日

議 題 平成31年度臨時総会の招集に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し岡本会長名で、臨時総会招集承認に係る書面決議を提案し、3月29日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 2 第38回理事会(書面審議)

日 時 平成31年4月26日

議 題 代表理事(会長、副会長)の選定に係る提案

定款第36条に基づき、役員に対し岩井専務理事名で、代表理事(会長、副会長)選定承認に係る書面決議を提案し、4月26日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

代表理事 会長 玉田 浩 一 殿

代表理事 副会長 相津 晴 洋 殿

(3) . 3 第39回理事会

日 時 令和元年5月21日(火) 14:00~15:10

場 所 東京都文京区湯島(東京ガーデンパレス 3階 鶴の間)

出席者 会長(代表理事)千葉県玉田企業局長 ほかに19名

うち理事 9名(総数13名、令和元年5月20日現在)

監事 2名(総数 3名、令和元年5月20日現在)

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官

次 第 会長挨拶

来賓紹介

議 題

I 議案

第1号議案 平成30年度事業報告(案)

第2号議案 平成30年度決算報告書(案)及び監査報告書

第3号議案 入会の承認(案)

第4号議案 会長表彰受賞候補者の選考(案)

第5号議案 令和2年度工業用水道事業施策に関する要望事項及び実施(案)

第6号議案 令和元年度第7回定時総会招集及び議題並びに議案概要(案)

II 報告事項

(1) 平成30、31年度のこれまでの事業経過報告

概 要

会長の玉田千葉県企業局長の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。

玉田会長が議長となって議事に入り、事務局から各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後、全員異議なく原案のとおり了承された。

(3) . 4 第40回理事会（書面審議）

日 時 令和元年6月10日

- 議 題
- (1) 小松一彦殿を代表理事に選定し、会長とする。
 - (2) 相津晴洋殿を代表理事に選定し、副会長とする。
 - (3) 玉田浩一殿を代表理事に選定し、副会長とする。
 - (4) 岩井昭則殿を代表理事に選定し、専務理事とする。

定款第36条に基づき、役員に対し玉田会長名で、代表理事（会長、副会長、専務理事）選定承認に係る書面決議を提案し、6月10日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 5 第41回理事会（書面審議）

日 時 令和元年11月15日

議 題 特別会員の入会申込に係る理事会の承認について

定款第36条に基づき、役員に対し小松会長名で、特別会員1名の入会承認に係る書面決議を提案し、11月15日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 6 第42回理事会

日 時 令和2年1月31日 14:00～14:40

場 所 東京都文京区湯島1-7-5（東京ガーデンパレス 3階 平安）

出席者 会長（代表理事）小松山口県公営企業管理者 ほか20名

うち理事10名（総数13名、令和2年1月31日現在）

監事 2名（総数 3名、令和2年1月31日現在）

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 松田工業用水道計画官 ほか1名

次 第 会長挨拶

来賓紹介

議 題

I 議案

第1号議案 令和2年度事業計画（案）

第2号議案 令和2年度収支予算書（案）

II 報告事項

(1) 令和2年度工業用水道事業研究大会の東京開催について

(2) 令和元年度のこれまでの事業経過報告

(3) 各種委員会等報告について

概 要

会長の小松山口県公営企業管理者の挨拶に続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課松田工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。

引き続き同課坂本係長の紹介を行った。

小松会長が議長となって議事に入り、事務局から各議案について説明を行い、各議案について質疑応答の後、全員異議なく原案のとおり了承された。

(4) 監事会

日 時 平成31年4月26日(金) 14:00～15:05

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 福島県企業局 秋田工業用水道課長

岡山県企業局 黒住局長

大成機工株式会社 鈴木代表取締役社長

概 要

定款第24条(監事の職務及び権限)に基づき、監事会で監事による平成30年度事業報告、決算報告書の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

(5) 協会運営委員会

(5) . 1 平成31年度第1回協会運営委員会

日 時 平成31年4月17日(水) 14:00～15:05

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 千葉県企業局工業用水部松宗次長 ほか20名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか2名

次 第 開 会

議 題

1) 第39回理事会提出議案について

2) その他

概 要

岩井専務理事の開会の挨拶に引き続き、経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官から挨拶をいただいた。

松宗千葉県企業局工業用水部次長が委員長となり、委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、すべて原案どおり了承され、理事会にはかることとした。

(5) . 2 令和元年度第2回協会運営委員会

日 時 令和元年12月18日(水) 14:00～14:40

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 山口県企業局永田総務課長 ほか19名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 堀課長補佐 ほか1名

次 第 開 会

議 題

1) 第42回理事会提出議案について

(1) 令和2年度事業計画(案)

(2) 令和2年度収支予算書(案)

2) その他(報告事項について)

① 令和2年度工業用水道事業研究大会の東京開催について

- ② 令和元年度のこれまでの事業経過報告について
- ③ 各種委員会報告について

概 要

岩井専務理事の開会の挨拶後、永田山口県企業局総務課長が委員長となり、委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、すべて原案どおり了承され、理事会にはかることとした。

2. 工業用水道事業の推進

(1) 令和2年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 令和元年7月26日(金)

参加者 会長山口県小松公営企業管理者、愛知県小瀬村技術監、ほか12名

概 要

第39回理事会で承認された要望事項等について、正副会長、役員、事務局代表で構成する要望団により、経済産業省、総務省、国土交通省水管理・国土保全局等へ要望を行った。なお、経済産業省では、塩手地域産業基盤整備課長、松田工業用水道計画官等との意見交換を行った。

3. 事業

(1) 調査研究業務

(1) . 1 工業用水道事業研究大会

日 時 令和元年10月3日(木)、4日(金)

場 所 東京ガーデンパレス(2階 高千穂)

参加者 150名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 松田工業用水道計画官ほか4名

総務省公営企業経営室

乾室長

概 要

開会挨拶の後、当研究大会の企画立案を行っている技術委員会を代表して、技術委員長である、お茶の水女子大学大瀧教授から歓迎の挨拶があり、次いでご来賓としてご出席をいただいた総務省乾公営企業経営室長並びに経済産業省松田工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。事務局より大会の運営方法を報告し了承を得た。

1日目の午前中は、指定課題1の「施設等更新に係る対応について」について、北海道企業局山下工業用水道施設整備担当課長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで愛知県企業庁、徳島県企業局、大阪広域水道企業団から事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

午後の前半は、指定課題2の「旧管路の有効利用について」及び指定課題の3の「豪雨による浄水場や取水施設などの浸水被害及び、災害時における工業用水の供給について」並びに自由課題1について、宮城県企業局岩崎技監兼次長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで福島県企業局、大阪市水道局、三重県企業庁から事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

午後の後半は、指定課題4の「アセットマネジメント指針による設備更新について」及び自由課題2～3について、福島県企業局秋田工業用水道課長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで北海道企業局、熊本県企業局、高知県公営企業局から事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

2日目は、自由課題4～5について、新潟県企業局施設課五十嵐課長補佐が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで大阪広域水道企業団、神戸市水道局、神戸市水道局から事例紹介が行われ、質疑応答・意見交換が行われた。

その後、関連産業会員の技術情報発表として、(株)クボタ、JFEエンジニアリング(株)からそれぞれ発表が行われた。

最後に、「ドイツ連邦共和国における水道事業の調査」について千葉県企業局工業用水部施設設備課嶋田副主幹、工業用水管理課長田主査、千葉県印旛地域振興事務所幸森技師から講演をいただいた。

(1) . 2 第55回研究発表会

日 時 令和2年2月27日(木)、28日(金)

場 所 東京都千代田区市ヶ谷(自動車会館 大会議室)

参加者 一般参加者約65名、発表者等20名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 松田工業用水道計画官

概 要

小泉編集委員長の挨拶及び経済産業省松田工業用水道計画官からご挨拶をいただいた。その後、会長代理小泉委員長から、論文賞「ドイツ連邦共和国における水道事業の調査」の千葉県企業局と「立坑築造ができない場合のパイプ・イン・パイプ(PIP)工法について」の日鉄パイプライン&エンジニアリング株式会社に賞状等が贈られた。続いて日刊工業新聞社賞が「不断水で設置可能な継手部補強金具による既設管の地震対策」の大成機工株式会社へ日刊工業新聞社仲谷総務部長から賞状等が贈られた。

続いて研究発表に入り、上記受賞記念講演のほか15件の研究発表があり活発な質疑応答が行われた。

(1) . 3 経営委員会・技術委員会（合同委員会）

日 時 令和元年5月13日（火）15：00～16：45

場 所 TKP ガーデンシティ御茶ノ水 3階 3F会議室

出席者 経営委員会委員長 茨城県企業局羽生業務課長、技術委員会委員長 お茶の水女子大学大瀧教授 ほか委員等28名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか2名

総務省公営企業経営室 松尾課長補佐(代理：田中事務官)

次 第 開 会

委員の紹介

議 題

- 1) 平成31年度工業用水道事業研究大会について
 - (1) 検討課題の選定について
 - (2) スケジュール・開催（案）
- 2) 令和2年度工業用水道事業施策要望について
 - (1) 施策要望項目等について
 - (2) 要望の手順について
- 3) その他

概 要

経済産業省佐々木工業用水道計画官、総務省公営企業経営室田中総務事務官からそれぞれご挨拶を頂いた後、羽生経営委員長、大瀧技術委員長の進行により、各議題について、審議が行われた。

議題1)の審議を大瀧技術委員長の進行で行うこととし、事務局から議題1)の研究大会検討課題について審議の結果、指定課題として1. 施設等更新に係る対応について、2. 旧管路の有効利用について、3. 豪雨による浄水場や取水施設などの浸水被害及び、災害時における工業用水の供給について、4. アセットマネジメント指針による設備更新についての4件が、自由課題として1. 新規給水事業所が既存給水事業所への分岐管を利用する場合の取扱いについて、2. 赤字事業の経営健全化に向けた対応について、3. 工業用水道事業の広報、PR活動への取組状況について、4. 工業用水の温度上昇に係る対策について、5. 工業用水道施設の保守管理におけるIOTなどの新技術の活用についてが選定された。

議題2)の審議を羽生経営委員長の進行で行い、令和2年度施策要望案をとりまとめ、理事会に諮ることとした。

(1) . 4 令和元年度「工業用水道事業におけるPPP/PFI促進事業」

(株)NJS が経済産業省より受託した「工業用水道事業における PPP/PFI 促進事業」について、当協会が協力団体として再委託を受け、各協議等に出席した。

(1) . 5 編集委員会（後述の編集委員会第5回参照）

日 時 令和元年12月20日（金）

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか17名

概 要

令和元年会誌掲載の論文の中から論文賞の選考を行うとともに、第55回研究発表会（令和2年2月）の運営、応募発表及び日刊工業新聞社賞の審査、プログラム編成を行った。

(1) . 6 関連産業委員会

(1) . 6 ①関連産業委員会（令和元年度第1回）

日 時 令和元年6月24日（月）16:00～16:30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 日本ダクタイル鉄管協会久保会長 理事長 ほか委員等16名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 他2名

次 第 挨拶

議 題

- 1) 平成30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画・収支予算について
- 2) 工業用水道事業研究大会における関連産業会員による技術情報の発表の実施方法（案）
- 3) その他

概 要

久保会長の挨拶に引き続き、ご来賓の経済産業省地域産業基盤整備課佐々木工業用水道計画官から挨拶を頂いた。引き続き配付資料の確認を行い、各議題について委員長が議事進行を行い、各議題の審議が行われた。

事業・会計報告については、平成30年度関連産業委員会事業報告（案）及び収支決算報告（案）、令和元年度関連産業委員会事業計画（案）及び収支予算（案）がそれぞれ原案どおり了承され、第2回目の委員会を9月19日～20日に徳島県企業局の協力のもと、工業用水道施設の視察及びユーザーの視察が確認・承認された。

工業用水道事業研究大会における関連産業会員の技術情報の発表及び運営方法については、原案どおりで了承された。また、その他に関連する議案として、会誌「工業用水」へ原稿執筆のお願いについて及び、第55回研究発表会について並びに、備蓄資機材情報システムの運用について、事務局から説明を行った。

(1) . 6 ②関連産業委員会（令和元年度第2回）

日 時 令和元年9月19日（木）、20日（金）

場 所 徳島県徳島市 徳島グランヴィリオホテル

出席者 久保委員長 ほか委員等25名

来 賓 経済産業省地域産業基盤整備課 松田工業用水道計画官 ほか3名

次 第 開 会

挨 拶

講 演（松田工業用水道計画官）

議 題

- 1) 前回議事録の確認について
- 2) 事業研究大会での技術紹介、展示等について
- 3) 会誌「工業用水」へ原稿執筆のお願いについて
- 4) その他、協会事業について

概 要

徳島県企業局のご協力を得て1日目は、阿南工業用水道管理所及び幸野配水支管布設替工事現場を視察した。

委員会は、地元徳島県木下企業局長から歓迎の挨拶があり、ご来賓として出席いただいた経済産業省地域産業基盤整備課松田工業用水道計画官から、ご挨拶と「工業用水道事業をめぐる動向」についてのご講演をいただいた。その後、久保委員長の進行のもと、各議案について事務局が説明を行い審議が行われ、承認・報告された。

2日目は、大塚製薬(株)能力開発研究所、企業内保育園（ビーンスターク）、オロナミンC・マッチ工場及び大塚美術館の見学を行い終了した。

(1) . 7 その他

(1) . 7 ①情報の提供関連

令和元年10月に、昨年3月末時点の工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を収集整理し、事業者会員はじめ全国の工業用水道事業者、経済産業省及び(独法)水資源機構に情報提供を行った。また平成29、30年度の工業用水道事業における給水状況、昭和52年から平成30年度末までの工業用水道料金の推移を収集整理し、事業者会員を中心に情報提供を行った。

(1) . 7 ②水道分野における官民連携推進協議会

(厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催)

概 要

厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を、厚労・経産両省主催、日水協・工水協共催で開催した。

開催状況

第1回協議会

令和元年 9月27日(金)

横浜市水道局菊名ウォータープラザ 参加 96名

第2回協議会

令和元年11月 1日(金) 近畿経済産業局大阪合同庁舎 参加 123名

第3回協議会

令和元年12月13日(金) 北九州市内西日本総合展示場 参加 100名

第4回協議会

令和2年 2月14日(金) 長野県庁議会棟講堂 参加 104名

(2) 出版に関する事業

(2) . 1 編集委員会

(2) . 1 ①編集委員会(第1回)(令和元年度)

日 時 平成31年4月25日(木) 16:00~17:30

場 所 日本工業用水協会 会議室
出席者 小泉委員長 ほか委員等 18名
オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか1名
総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：田中総務事務官）

次 第 開 会
議 題

- 1) 5月号の確認、7月号・9月号の編集について
- 2) その他

概 要

委員長の挨拶に引き続き、各委員から自己紹介の後審議に入り、5月号を確認、7・9月号の査読確認、査読担当委員の調整を行った。なお、小泉委員長から、山口県企業局第4次経営計画の紙面数が多いとの意見があったが、各事業体で参考となるものであるため、5月号と7月号で分割して掲載することを事務局から報告した。

事務局から会誌「工業用水」価格の値上げについて報告した。値上げの要因は、主要製紙メーカーが印刷用紙を値上げするため、印刷業者団体から印刷費の値上げ要望があったことを報告した。

(2) . 1 ②編集委員会（第2回）

日 時 令和元年6月17日（月）15：00～16：45
場 所 日本工業用水協会 会議室
出席者 小泉委員長 ほか委員等 21名
オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 佐々木工業用水道計画官 ほか1名
総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：田中総務事務官）

次 第 開 会
議 題

- 1) 7月号の確認、9月号・11月号の編集等について
- 2) その他

概 要

新任委員の紹介の後審議に入り、7月号を確認した。また、9月号の査読確認をした。11月号の水質試験方法の特集については、委員から、現場の状況、特に世代の交代などから論文が出にくくなっている状況などが報告された。小泉委員長から、この分野の論文執筆は、若い世代の技術力の向上に大いに寄与するため、各事業体からの執筆参加と協会からの積極的な勧奨を依頼された。

(2) . 1 ③編集委員会（第3回）

日 時 令和元年8月28日（水）16：00～16：45
場 所 日本工業用水協会 会議室
出席者 小泉委員長 ほか委員等 18名
オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 坂本係長

次 第 開 会
議 題

- 1) 9月号の確認、11月号・1月号の編集について
- 2) その他

概 要

9月号を確認、11月号について、水質試験特集の査読担当委員を決定した。
1月号については「全国の工業用水道事業紹介」として、ブロック別に掲載することを事務局から報告した。

(2) . 1 ④編集委員会（第4回）

日 時 令和元年10月31日（木）15:00～16:30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等19名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 坂本係長 ほか1名
総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：田中総務事務官）

次 第 開 会
議 題

- 1) 11月号の確認、1月号・3月号の編集について
- 2) その他

概 要

11月号及び、1月号の査読確認をした。また、事務局より令和元年度工業用水道事業研究大会報告その1などの掲載予定を報告した。3月号については工業用水道事業特集として、経産省、総務省、国交省に執筆依頼について説明した。

なお、林副委員長から、千葉県に大きな被害をもたらした先般の3つの台風災害のため、BCP関連の原稿作成が遅れており、予定している1月号への投稿は延期とさせていただきたいが、内容についても、今回の台風災害で浮き彫りになった課題も新たに加味したものや、外来水生植物に係るイギリス、フランスでの海外調査報告も考えられるとの報告があった。

(2) . 1 ⑤編集委員会（第5回）

日 時 令和元年12月20日（金）15:00～17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等17名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 竹中係長
総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：田中総務事務官）

次 第 開 会
議 題

- 1) 1月号の確認、3月号・5月号の編集について
- 2) 論文賞の選考について
- 3) 第55回研究発表会について
- 4) その他

概 要

1月号の確認を行い、3月号・5月号の査読担当委員を決めた後、論文賞の選考について、審議の結果推薦のあった2編が選考された。

第55回研究発表会について、推薦のあった1件の日刊工業新聞社賞候補について検討し、了解された。また、プログラムを編成し、担当座長を決定した。

(2) . 1 ⑥編集委員会（第6回）

日 時 令和2年2月21日（金）15:30～17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 小泉委員長 ほか委員等17名

オブザーバー 経済産業省地域産業基盤整備課 松田工業用水道計画官 ほか

1名

総務省公営企業経営室 松尾課長補佐（代理：田中総務事務官）

次 第 開 会
議 題

- 1) 3月号の確認、5月号・7月号の編集について
- 2) 第55回研究発表会について
- 3) その他

概 要

3月号の査読確認をした。5月号について日刊工業新聞社賞受賞記念講演、解説、紹介のほか、第55回研究発表会発表論文の概要などの掲載予定を報告した。7月号の編集について検討を行った。

第55回研究発表会について、事務局から当日の流れを説明し、座長を担当する委員に依頼をした。

(2) . 2 出版図書

- ① 会誌「工業用水」令和元年5月号～令和2年3月号（No. 654～659）
- ② 会員名簿（2019年度CD版）

(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(3) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設備、検査法、品質管理等について審査を行った結果、下記5事業場を認定工場として承認した。

認定更新日	認定番号	認定事業場名	認定の対象となる製品の名称
31・4・1	日工協認第35号	前澤工業(株) 埼玉製造所	弁類
31・4・1	日工協認第36号	(株)クボタ 枚方製造所	弁類
31・4・20	日工協認第31号	幡豆工業(株)	ダクタイル鋳鉄異形管 弁類
元・6・30	日工協認第11号	JFEエンジニアリング(株) 鶴見製作所	水輸送用塗覆装鋼管直管及び異形管
元・8・1	日工協認第60号	コスモ工機(株) 秋田工場	塗覆装鋼管異形管・不断水用バルブ 伸縮可撓管ほか

(3) . 2 工業用水道管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を（公社）日本水道協会に委託して行った。

(4) 工業用水道保険事業

平成27年度に創設した、工業用水道賠償責任保険及び工業用水道機械設備損害保険について、延べ25件の加入状況となっている。

工業用水道賠償責任保険 20事業体

工業用水道機械設備損害保険 5事業体